

わだ い す き



第142号
発行 令和3年6月24日

発行者 和田地域センター地域づくり支援員
連絡先 南房総市和田町仁我浦206 ☎ 0470-47-3427

「花」と「くじら」絵画コンクール 開催されます

和田町の代表的な産業である「花」と「くじら」をテーマにした絵画コンクールを下記の要項にて、今年度も開催されます。毎年、市内小学校・中学校を中心に多くの皆さんがこの企画に参加してくれています。「花」と「くじら」両方描いていただいても、どちらか一方に焦点をあてていただいても結構です！

【募集期間】 令和3年8月1日～9月20日

【応募資格】 小学生以上

【展示会場】 和田コミュニティセンター

【応募形式】 八つ切(27cm×39cm)か四つ切(39cm×54cm)の画用紙
絵具、クレヨン、色鉛筆、マーカーなど手法は自由

【主催】 チーム花鯨

【問合せ先】 和田地域センター内「花」と「くじら」絵画コンクール係
南房総市和田町仁我浦206 0470-47-3427



昨年度の実行委員長賞

※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、絵画教室の開催はございません

災害時避難所開設訓練を実施しました

6月17日(木)に、和田コミュニティセンターや各広域避難所にて、市役所職員を対象とした災害時避難所開設訓練が行われました。和田コミュニティセンターでは新型コロナウイルス感染症に対応した避難者の受付対応や、避難所の間仕切りの組立などを行いました。また、各広域避難所では、避難所物品の確認や無線を活用しての通信訓練を行いました。今後も訓練を通し、各役割の確認や今後の改善点などを明確にし、適切な避難所運営を目指します。



白渚海岸ビーチクリーン実施しました

恒例の活動となった白渚海岸のビーチクリーンが5月30日(日)に行われました。今回は、海岸清掃終了後にサーファーの皆さんに向けた注意喚起看板を、経年劣化の理由により撤去しました。この看板は約20年前に設置されたもので、その当時からこのビーチクリーン活動に携わってきた柴区の中臺さんより、この看板を設置した経緯や日頃の協力に対する感謝の挨拶がありました。看板は一時撤去しますが、引き続き、サーファーの皆さんには、マナーを守って白渚の海を楽しんでいただきたいと思います。



サーファーの皆さんに挨拶をする中臺さん

新型コロナワクチン集団接種予約受付開始



65歳以上の高齢者を対象とした新型コロナウイルスワクチンの集団接種の予約受付が5/24(月)より開始されました。和田地域センターでもWEB予約の出来ない方のために、職員がそのお手伝いをさせていただいております。5/24、31日の予約日には多くの方がお越しになりましたが、開始早々に予約枠が埋まってしまい、予約を取れない方が出るなど、ご迷惑をお掛けいたしました。3回目となる6/7以降は混雑が和らぎ、ご希望の時間でご予約をお取りする事が出来る状態になってきました。

昔話の看板設置 花園区 子の権現 (ねのごんげん)

南房総市に伝わる民話や昔話を広く市民の皆様知ってもらい、より郷土に親しみをもってもらう事を目的に、市では、市内各地に看板の設置を始めました。和田地区は、柴区の西福院と花園区の諏訪神社の計2カ所に設置されました。今回は諏訪神社の「子の権現(ねのごんげん)」をご紹介します。鎌倉時代に天皇の位をめぐる争いから逃れ、和田の浜辺に舟で打ちあがった花園天皇の皇女・子の姫(ねのひめ)にまつわる昔話です。村人に助けられた子の姫は、文字や歌を村人に教え、慕われ暮らしていましたが、間もなく病に倒れ息を引き取りました。やがて村人たちは子の姫が舟で打ちあがった時ににぎりしめていた黄色の花木(ハマボウ)を子の姫のお墓に植え、花園の木と名付けたそうです。現在も諏訪神社の境内には、ハマボウが現存し、6月から7月にかけて、黄色の花を咲かせています。またこの事をきっかけにそれまで西条村だった地名を父・花園天皇にちなみ、花園村と呼ぶようになりました。



ハマボウの花



諏訪神社に設置された看板



南房総市と聖徳大学短期大学部の協働によって制作された子の姫の絵本

華やかに咲き誇る上三原区の花菖蒲



上三原区、鈴木さん方の花菖蒲が今年も鮮やかに咲きました。房日新聞やYAHOOニュースで取り上げられた影響か、多くの方が足を運んでいたようです。白や紫と、上品で古風な雰囲気の花菖蒲を背に、多くの方が記念写真を撮り楽しまれました。